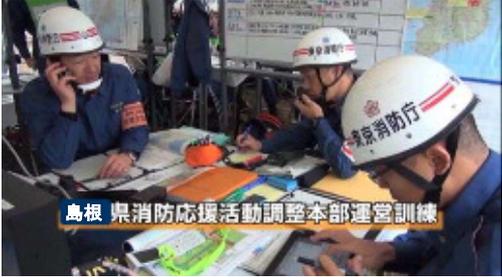


訓練 2 日目 (10月21日)

訓練項目別概要票

訓練名称		災害対策本部等運営訓練												訓練番号			
訓練時間		訓練所要時間		待機完了		出 動		完了									
		160分		8時45分		9時00分		11時40分									
訓練場所		部隊運用訓練会場内															
訓練想定		緊急消防援助隊の迅速かつ的確な活動のため消防応援活動調整本部等を運営し、各関係機関とともに緊急消防援助隊の活動管理を推進し、円滑有効なる災害応急対策を図る。															
		「調整本部」、「指揮支援本部」、「指揮本部」、「航空運用調整班」、「DMAT調整本部」の各本部を設置し、その運営について検証する。 島根県災害対策本部及び各市災害対策本部については割愛する。															
参 加 部 隊	隊別	広島市		岡山市		神戸市		島根県		安来市		その他				合計	
	部隊名	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数
	指揮支援部隊長	1	5													1	5
	調整本部							1								1	0
	指揮支援本部			1	4	1	8									2	12
	指揮本部								1	2						1	2
	航空運用調整班							1								1	0
	DMAT調整本部										1					1	0
合計		1	5	1	4	1	8	2	1	2	1				7	19	
《活動概要》																	
<p>1 調整本部 被害状況の調査。活動方針の決定。部隊編成・部隊配備の決定。県大隊指揮隊の統制指揮。指揮支援本部との連絡調整</p> <p>2 指揮支援本部 被害状況の調査。活動方針の決定。部隊の統制指揮。調整本部への状況報告 統括県大隊長を指名して現地調整本部を設置し、指揮系統と情報連絡体制の明確化を図る。</p> <p>3 安来消防指揮本部 被害情報の調査。市及び県災害対策本部、調整本部、及び指揮支援本部との連携。</p> <p>4 航空運用調整班（ヘリベース） 地上部隊との調整及び各航空小隊への指示等の統制</p> <p>5 DMAT調整本部 調整本部等と調整を図り、効果的な災害医療の指揮にあたる。</p>																	
 																	
参加機関		広島市消防局指揮支援隊長、神戸市消防局指揮支援隊、岡山市消防局指揮支援隊、島根県、安来消防指揮本部															
訓練担当		島根県防災部消防総務課、島根県健康福祉部医療政策課 出雲消防、松江消防、安来消防															
備 考																	

訓練 2 日目 (10月21日)

訓練項目別概要票

訓練名称		災害情報収集・情報伝達訓練																訓練番号	①						
訓練時間		訓練所要時間		待機完了		出 動		完了																	
		5分		8時45分		9時00分		9時05分																	
訓練場所		部隊運用訓練会場全域																							
訓練想定		豪雨と地震により、安来市管内で多くの被害が発生している。																							
参 加 部 隊	隊別	広島市		神戸市		岡山市		島根県		安来市												合計			
	部隊名	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数		
		指揮支援部隊長	1	5																			1	5	
		調整本部							1															1	0
		指揮支援本部			1	8																		1	8
		指揮支援隊					1	4																1	4
		指揮本部								1	2													1	2
		航空運用調整班							1															1	0
	島根県防災航空隊							1															1	0	
	合計	1	5	1	8	1	4	3		1	2											7	19		
<p>《活動概要》</p> <p>1 調整本部 島根県防災航空隊に対し、被災地状況の情報収集の出動指示を行い、島根県防災航空隊からの被災地状況報告（訓練会场上空偵察）を受け、指揮支援本部に伝達する。</p> <p>2 航空小隊（島根県防災航空隊） 上空より被害情報を調査。画像電送装置等を活用し消防応援活動調整本部等へ情報の伝達（ヘリテレにより映像を配信） *映像は、消防庁へも配信</p> <p>《活動要領》</p> <p>1 指揮支援本部 堤防決壊による市街地の浸水情報及び高速道路の橋梁が崩落したとの情報により、調整本部に対し、航空隊による水害及び地震の被災地状況確認の出動要請を実施。</p> <p>2 調整本部 指揮支援本部の要請を受け、防災航空隊に対し、出動の指示。</p> <p>3 航空運用調整班 調整本部の指示内容を汲み、島根県防災航空隊並びに県警へりの出動について連絡調整実施。各航空隊への活動内容の詳細指示実施。</p> <p>4 航空部隊（フォワードベース） 調整本部の指示により出動。 航空運用調整班に対し被災地状況の報告。</p> <p>5 航空運用調整班 航空隊の状況報告を、調整本部に伝達。</p> <p>6 調整本部 防災航空隊による被災地状況報告を航空運用調整班より受け、指揮支援本部に伝達。</p> <p>7 指揮支援本部 調整本部から防災航空隊報告の伝達を受け、緊援隊に出動の指示実施。</p>																									
参加機関		島根県防災航空隊、指揮支援本部、調整本部、航空運用調整班 安来消防指揮本部																							
訓練担当		島根県防災航空隊、松江消防																							
備 考																									

訓練 2 日目 (10月21日)

訓練項目別概要票

訓練名称		道路啓開訓練														訓練番号	②		
訓練時間		訓練所要時間		待機完了		出 動		完了											
		15分		9時00分		9時15分		9時30分											
訓練場所		部隊運用訓練会場																	
訓練想定		地震により瓦礫、土砂等が道路上に崩落し、緊急車両の進入が困難になっている。																	
		訓練趣旨 指揮支援本部は、県内消防応援隊指揮隊に対し、知事の要請により救助活動等を必要とする現場への進入ルートの確保のために派遣された自衛隊の大型重機による道路啓開活動の指揮について指示し、消防と自衛隊の連携を図る。																	
参加部隊	隊別	島根県		その他														合計	
	部隊名	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数
	県内消防応援隊指揮隊	1	4															1	4
	陸上自衛隊			0	0													0	0
	合計	1	4	0	0													1	4
《活動概要》 ◎県内広域消防応援隊指揮隊（松江消防指揮隊）は、被災地への進入経路確保のために知事の要請により派遣された自衛隊保有の重機による支援を受け、倒壊建物や土砂及び瓦礫の除去による道路啓開について自衛隊と連携する。 ●自衛隊の道路啓開完了の後に、県内消防応援隊指揮隊の指揮の下、参集した各隊は各災害現場へ進行する。 ※堤防決壊逃げ遅れ者救出訓練（水害想定）が始まった後、進行スタッフ（訓練進行本部）の指示により、スタートするものとする。																			
																			
参加機関		陸上自衛隊、県内消防応援隊指揮隊、指揮支援本部																	
訓練担当		安来消防																	
備考																			

訓練 2 日目 (10月21日)

訓練項目別概要票

訓練名称		堤防決壊逃げ遅れ者救出訓練														訓練番号		③		
訓練時間		訓練所要時間				待機完了				出 動				完了						
		60分				8時55分				9時10分				10時10分						
訓練場所		部隊運用訓練会場																		
訓練想定		<p>豪雨と地震により、氾濫危険水位に達した堤防が決壊し、家屋の倒壊流失等の危険が切迫しているなか、多数の逃げ遅れ者が発生している。</p> <p>訓練趣旨</p> <p>●鬼怒川水害の事案を教訓として、住宅地直近の堤防が決壊して大規模な洪水が発生し、倒壊の危険が迫る住宅及び多数の要避難支援者が入所する施設等における逃げ遅れ者が存在する現場想定。</p> <p>★被害が拡大し、要救助者に危険が迫る緊急性の高い現場において、消防隊による地上（浸水域）からのアプローチが困難な状況における、防災航空隊等の各防災関係機関相互のヘリコプターの連携による効果的な救助活動を実施する。</p>																		
参 加 部 隊		隊別						その他										合計		
		部隊名	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数
		鳥取県消防防災航空隊	1																1	0
		山口県消防防災航空隊			1														1	0
		徳島県消防防災航空隊				1													1	0
		海上保安庁ヘリ					1												1	0
		救急小隊																	0	0
		合計	1		1		1		1										4	0
<p>《活動概要》</p> <p>ブラインド型訓練</p>																				
																				
参加機関		海上保安庁、各県防災航空隊、航空運用調整班 中国四国各緊急消防援助隊（ブラインド要請）																		
訓練担当		島根県防災航空隊、益田消防、浜田消防、大田消防、松江消防 安来消防																		
備 考																				

訓練 2 日目 (10月21日)

訓練項目別概要票

訓練名称	建物等水没孤立者救出訓練														訓練番号	④
訓練時間	訓練所要時間		待機完了		出 動		完了									
	90分		9時55分		10時10分		11時40分									
訓練場所	部隊運用訓練会場															
訓練想定	堤防の決壊により洪水が発生し、住宅や走行車両が被災し、負傷した孤立者及び漂流者が多数発生している。 訓練趣旨 ●津波災害等を教訓として、洪水により押し流され倒壊した住宅や、浸水した車両等に取り残され救助を待つ孤立者及び避難中に水害に遭遇し浮遊物等にしがみ付き救助を待つ漂流者が時間経過とともに、低体温症等による状態悪化が迫る現場想定。 ★浸水域における救助活動で優れた装備の水陸両用車(バギー)と、水面救助を効率的に行えるスレッドを付帯する救助ボートによる、浸水域での効果的な救助活動を実施する。															
参加部隊	隊別			その他										合計		
	部隊名	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	
	〇〇県大隊指揮隊													0	0	
	救助小隊													0	0	
	津波・大規模風水害対策車(バギー)													0	0	
	消火小隊													0	0	
	救急小隊													0	0	
	特殊装備小隊(水難救助車)													0	0	
海上保安庁					0	0							0	0		
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
《活動概要》 ブラインド型訓練																
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>																
参加機関	海上保安庁、中国四国各緊急消防援助隊(ブラインド要請) 島根県内消防応援隊															
訓練担当	浜田消防、益田消防、大田消防、雲南消防、安来消防															
備 考																

訓練 2 日目 (10月21日)

訓練項目別概要票

訓練名称		土石流生き埋め者救出訓練														訓練番号	⑤		
訓練時間		訓練所要時間				待機完了				出 動				完了					
		135分				9時10分				9時25分				11時40分					
訓練場所		部隊運用訓練会場																	
訓練想定		<p>住宅地にて大規模な土石流が発生し、広範囲に住家及び車両が損壊し多数の生き埋め者が発生した。</p> <p>訓練趣旨 ●広島豪雨災害等を教訓として、記録的な短時間豪雨により、避難準備のいとまがない状況において刹那に発生した大規模広範囲に及ぶ土石流により、住宅及び走行車両が損壊して多数の生き埋め者が発生した現場想定。 ★活動の長期難航が見込まれる土砂等の除去作業を伴う災害現場における、特殊装備小隊(重機)保有の効率的な技術並びに資機材投入、及び損壊した住宅での救助検索に際して倒壊危険防止の安定化技術を施す等の二次災害防止の安全措置を万全に施し、効果的な救助活動を実施する。</p>																	
参加部隊	隊別					島根県		その他										合計	
	部隊名	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数
	〇〇県大隊指揮隊																	0	0
	救助小隊																	0	0
	消火小隊																	0	0
	救急小隊																	0	0
	特殊装備小隊(重機)																	0	0
	島根県警機動隊							0	0									0	0
	海上保安庁							0	0									0	0
	救助犬団体							0	0									0	0
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
《活動概要》 ブラインド型訓練																			
																			
参加機関		島根県警、海上保安庁、救助犬団体 中国四国各緊急消防援助隊(ブラインド要請)、島根県内消防応援隊																	
訓練担当		出雲消防、大田消防、江津消防、雲南消防、隠岐消防、松江消防 安来消防																	
備考																			

訓練 2 日目 (10月21日)

訓練項目別概要票

訓練名称	橋梁倒壊孤立者救出訓練														訓練番号	⑥					
訓練時間	訓練所要時間				待機完了				出 動				完了								
	125分				9時20分				9時35分				11時40分								
訓練場所	部隊運用訓練会場																				
訓練想定	<p>地震により高速道路の一部区間で橋梁が倒壊し、残存する橋梁上に多数の孤立者が発生している。</p> <p>訓練趣旨 ●平成20年岩手・宮城内陸地震での山体崩落による自動車専用道路の橋梁倒壊被害等を踏まえ、地震により高速道路の一部区間で橋梁が倒壊・落下し、残存する橋梁上に多数の孤立者が発生した現場想定。 ★孤立者の救助に際して、防災航空隊はじめ各機関のヘリコプターの現場到着が困難な状況として、地上部隊のロープレスキュー技術を駆使した救助活動とする。なお、陸路の進入ルートは途絶されたものとし、また、はしご車の活用についても、隊員の投入のみとする負荷要素を盛り込む。</p>																				
参加部隊	隊別		島根県		その他														合計		
	部隊名		隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	
	県内消防応援隊 (松江消防指揮隊)		1	4																1	4
	救助小隊																			0	0
	消火小隊																			0	0
	救急小隊																			0	0
	特殊装備小隊 (はしご車)																			0	0
	海上保安庁				0	0														0	0
合計		1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	
<p>《活動概要》</p> <p>ブラインド型訓練</p>																					
																					
参加機関	海上保安庁、中国四国各緊急消防援助隊 (ブラインド要請) 島根県内消防応援隊																				
訓練担当	大田消防、益田消防、雲南消防、松江消防、安来消防																				
備考																					

訓練 2 日目 (10月21日)

訓練項目別概要票

訓練名称	橋梁倒壊多重事故対応訓練														訓練番号	⑦				
訓練時間	訓練所要時間				待機完了				出 動				完了							
	120分				9時25分				9時40分				11時40分							
訓練場所	部隊運用訓練会場																			
訓練想定	地震により高速道路の一部区間で橋梁が倒壊崩落し、走行中の多数の車両の墜落事故が発生した。																			
	訓練趣旨 ●阪神淡路大震災を教訓に、高速道路の一部区間で橋梁が倒壊・落下し、走行中の多数の車両の墜落多重事故が発生した現場想定。 ★大破した多数の車両が上下に折り重なり、活動困難な現場状況。併せてガソリンベーパーが発生し、火災危険の排除が必要な環境条件として、多数の救助隊等の徹底した指揮統制が求められる現場における交通救助活動を実施する。																			
	隊別					その他												合計		
参加部隊	部隊名	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	
	〇〇県大隊指揮隊																		0	0
	救助小隊																		0	0
	消火小隊																		0	0
	救急小隊																		0	0
	特殊装備小隊 (大型ブローア搭載車)																		0	0
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
《活動概要》																				
ブラインド型訓練																				
																				
参加機関	中国四国各緊急消防援助隊 (ブラインド要請)																			
訓練担当	江津消防、出雲消防、大田消防、雲南消防、松江消防、安来消防																			
備考																				

訓練 2 日目 (10月21日)

訓練項目別概要票

訓練名称	倒壊座屈建物救出訓練														訓練番号	⑧				
訓練時間	訓練所要時間		待機完了		出 動		完了													
	130分		9時15分		9時30分		11時40分													
訓練場所	部隊運用訓練会場																			
訓練想定	地震により高速道路の一部区間で橋梁が倒壊崩落し、耐火造建物に直撃大規模損壊により多数の要救助者が発生した。																			
	訓練趣旨 ●地震により高速道路の一部区間で橋梁が倒壊・落下し、座屈倒壊した耐火建物を更に大規模に損壊させ、多数の要救助者が発生した現場想定。 ★被害建物内への進入に際しては、倒壊危険判定を行い、建物内での活動に際しては建物構造躯体等の安定化を行う。建物内への進入に安全有効な開口部は無く、ブリーチングにより自力設定する必要があるものとし、多数の救助隊等の連携と、余震への警戒態勢を徹底した指揮統制のもとでU S A R技術を効果的に実践する。																			
	隊別																		合計	
参 加 部 隊	部隊名	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	
	〇〇県大隊指揮隊																	0	0	
	救助小隊																	0	0	
	消火小隊																	0	0	
	救急小隊																	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
《活動概要》																				
ブラインド型訓練																				
 																				
参加機関	中国四国各緊急消防援助隊 (ブラインド要請)																			
訓練担当	雲南消防、出雲消防、江津消防、隠岐消防、松江消防、安来消防																			
備 考																				

訓練 2 日目 (10月21日)

訓練項目別概要票

訓練名称		大規模火災対応訓練				訓練番号		⑨							
訓練時間		訓練所要時間	待機完了	出 動		完了									
		40分	10時45分	11時00分		11時40分									
訓練場所		部隊運用訓練会場													
訓練想定		<p>地震により住宅密集地で火災が発生し延焼拡大中であり、多数の消防隊を配備し火災戦闘に当たる一方、強風に伴い、救助活動中の住宅密集地への飛び火の危険有り。</p> <p>訓練趣旨 ●住宅密集地で発生した火災は、強風に煽られ、大規模広範囲に拡大伸展の様相を呈しており、ブロック火災で食い止めるため消防隊は風下に部署し消火活動にあたったが、火勢熾烈により部署移動を余儀なくされ、風横の両側に隊を分ち、両側からの放水により徐々に焼損範囲を挟撃する活動方針に転換させた。また、街区火災への移行が切迫する火災現場から吹き付ける強風により大量大型の火の粉が火災現場と川を挟んだ風下の住宅密集地、及び山林に飛翔しており、更なる拡大危険が懸念される状況においてこの川を防火帯とするとともに、消防隊を河川敷土手に部署させ、風上上空に向けた一斉放水の放水幕による延焼防止を実施する。一方で、火災対応と</p>													
		<p>平行して火災現場付近の住民の避難誘導を実施していたところに、住民避難について連携していた地元自治会長及び県警から指定の避難所において避難完了の確認がとれたとの報告を得たことにより、防災航空隊及び自衛隊ヘリによる空中消火の要請を指揮支援本部に行い、一挙火勢鎮圧を図る。なお、現場周囲に消防警戒区域の設定と空中消火の実施について全活動隊への周知を行い、安全管理を徹底するものとする。</p> <p>★指揮支援本部の指示により、各災害現場から出動可能な指揮隊及び消火小隊を出動させ、土石流災害現場（訓練⑤）の要救助者等を火勢から守るため、当該現場北東側に多数の消防隊を集結させる。水利は訓練会場内浸水想定池の他、島根県と協定を締結する島根県生コンクリート工業組合に対し、コンクリートミキサー車による給水要請を行い、安来市消防団の先導により火災現場へ誘導し、各隊が連携した活動を実施する。</p>													
		参 加 部 隊		隊別		〇〇隊		航空隊		消防団		その他		その他	
部 隊 名		隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数
緊急消防援助隊消火小隊															
防災航空隊				3	0										3
安来市消防団						8	0								8
陸上自衛隊								1	0						1
島根県生コン組合										0	0				
合 計				3		8		1		0					12
《活動概要》		<p>1 安来市消防団 緊急消防援助隊の先導及び同隊と連携し消火活動を実施する。</p> <p>2 島根県生コンクリート工業組合 緊急消防援助隊及び安来市消防団と連携し給水活動を実施する。</p> <p>3 その他の部隊についてはブラインド型訓練を実施する。</p>													
《活動要領》		<p>1 県大隊長（土石流生き埋め者救出現場；岡山県大隊長） 強風により広範囲に拡大する住宅密集地火災現場から、大量大型の火の粉が川を挟んだ風下の土石流被害の住宅地、及び山林に飛翔しており、飛び火警戒の必要について土石流生き埋め者救出現場の前進指揮所は判断し、現地合同調整所に対し消火隊の要請を行う。</p> <p>2 現地合同調整所 消火隊及び地元消防団の現場派遣について、指揮支援本部に連絡する。</p> <p>3 指揮支援本部 消火隊及び地元消防団の現場投入について、現地合同調整所及び指揮本部と調整する。また、対岸の住宅密集地火災現場の前進指揮所から火災現場付近の住民の避難について、地元自治会長及び県警から指定の避難所において避難完了の確認がとれたとの連絡を受けた後、防災航空隊及び自衛隊ヘリによる空中消火の要請を調整本部に行い、一挙火勢鎮圧を図る。なお、現場周囲に消防警戒区域の設定と空中消火の実施に関して全隊へ周知し、安全管理を徹底する。</p> <p>4 現地合同調整所 飛び火警戒の前進指揮に係る県大隊長の指名について指揮支援本部と調整し、河川敷土手に消火隊を部署させ、風上上空に向けた一斉放水の放水幕による延焼防止の活動方針を示す。</p> <p>5 航空運用調整班 調整本部の指示にて防災航空隊による住宅密集地への延焼防止、及び自衛隊ヘリによる山林への延焼防止のための空中消火について出動要請を行う。</p> <p>6 航空部門（HB） 航空運用調整班の指示により防災航空隊及び自衛隊ヘリの空中消火について活動調整を行う。</p> <p>7 調整本部 消火小隊等及び防災ヘリ等の空中消火の水利確保のため、島根県と協定を締結する島根県生コンクリート工業組合に対し、コンクリートミキサー車による給水要請を行う。</p>													
参加機関		陸上自衛隊、中国四国各緊急消防援助隊（ブラインド要請） 島根県生コンクリート工業組合、安来市消防団													
訓練担当		隠岐消防、浜田消防、益田消防、大田消防、松江消防、安来消防													
備 考															



訓練 2 日目 (10月21日)

訓練項目別概要票

訓練名称		DMAT 活動及び傷病者対応訓練												訓練番号	⑩			
訓練時間		訓練所要時間		待機完了		出 動		完了										
		145分		9時00分		9時15分		11時40分										
訓練場所		部隊運用訓練会場																
訓練想定		<p>大規模災害により島根県災害対策本部（医療政策班）が設置され、島根県DMAT及び各県DMATの派遣要請が行われた。</p> <p>訓練趣旨 ●豪雨と地震により、広範囲に被害が及んで多くの傷病者が発生し、また被災地の病院は機能不全となり、応急救護所の必要が急務である現場想定。 ★被災地周辺の病院施設は飽和状態となりつつあり、道路は倒壊建物のガレにより幅員減少、路面にクラックや段差の発生など悪路状態であり陸路搬送に長時間を要している。応急救護所の開設について関係部署との調整、救急隊による一次トリアージ、DMATによる二次トリアージ、DMATとの連携に関してDMAT調整本部等との調整、救急隊及び各機関ヘリコプターによる地域医療搬送の実施、及び国への要請・調整によるSCUの設置による広域医療搬送を考慮し、一連の活動を展開する。</p>																
参加部隊	隊別	島根県						その他		その他						合計		
	部隊名	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	隊数	人数	
	島根県内消防応援隊指揮隊	1	4															1 4
	救急小隊																	0 0
	航空小隊																	0 0
	島根県DMAT							0	0									0 0
	他県DMAT									0	0							0 0
合計	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 4	
《活動概要》																		
<p>1 DMAT調整本部 医療政策班は、統括DMATを招集して島根県災害対策本部内にDMAT調整本部を設置し、現場医療活動等の調整をはじめ、DMAT活動拠点本部の指揮にあたる。</p> <p>2 DMAT活動拠点本部 地域災害拠点病院における支援活動の他、DMAT調整本部の指揮のもと、DMATの派遣等について連携・調整を図り、効果的な現場活動の統括にあたる。</p> <p>3 各DMAT DMAT活動拠点本部の指揮のもとで、応急救護所での現場医療及び二次トリアージを実施する。なお、指示により災害現場にて医療活動を実施する。</p> <p>4 航空小隊及び自衛隊ヘリ等 医療政策班は、地域医療搬送についてEMISを活用し、救急隊、航空小隊、及び自衛隊ヘリ等と連携調整する他、広域医療搬送による効果的な多数傷病者対応を考慮した一連の災害医療活動を行う。</p> <p>5 要請者 DMATの出動要請は県災害対策本部が行う。 DMAT活動拠点本部の設置は調整本部及びDMAT調整本部の指示による。 消防が開設した応急救護所での医療活動等はDMAT調整本部の指示による。</p>																		
参加機関		各DMAT指定医療機関所属DMAT、中国四国各緊急消防援助隊（ブライント要請）、県内消防応援隊指揮隊、安来消防団 他																
訓練担当		島根県健康福祉部医療政策課、出雲消防、浜田消防、江津消防、松江消防、安来消防																
備考																		